鋼製起伏ゲート設計要領(案)【第 2 版】

令和 2 年 10 月発行　B5 判　総頁数 323 頁
価格 7,040 円（税込） ※ 平成 11 年 10 月に発行しております、第 1 版の設計計算例を大幅に見直した第 2 版となります。
・ 堰・水門の計画とゲート設備の設計に携わる全ての技術者に必携 ・ 鋼製起伏ゲートの合理的かつ標準的な設計方法の提示と設計思想の統一化 ・ 性能規定化の流れにのった設計要領と設計計算例を掲載

【 主な内容 】

本要領は，鋼製起伏ゲートの大形化に対応できるようにするため，鋼製起伏ゲートの設計にあたっての設計の考え方について，設計手順を表す設計フローを示し，各設計段階で何に注意しなければならないのか，留意事項を取り入れるとともに，ダム・堰施設技術基準（案）との関連条項を整理し，かつ具体的事例，具体的な構造面での検討等を交え，設計要領としてとりまとめたものである。

第 1 章　総　則	第 3 章　扉体・戸当り・駆動部の設計
1-1　目　的	3-1　一般事項
1-2　適用範囲	3-2　横主桁式鋼製起伏ゲート
1-3　鋼製起伏ゲートの構成	3-3　魚腹式鋼製起伏ゲート
1-4　設計の基本	3-4　トルク軸式鋼製起伏ゲート
1-5　設備計画	第 4 章　油圧設備の設計
第 2 章　設計一般	4-1　一般事項
2-1　設計の手順	4-2　油圧装置
2-2　形式の選定	第 5 章　電気・制御設備の設計
2-3　基本条件	5-1　一　般
2-4　設計荷重	5-2　受電設備
2-5　開閉荷重	5-3　予備発電設備
2-6　使用材料	5-4　機側操作盤
2-7　材料の許容応力度	5-5　計測設備
2-8　開閉装置用材料の安全率	参考資料 6.　ゲート運転支援システム
2-9　許容面圧	
2-10　たわみ度の許容値	第 6 章　付属施設の設計

2-11　余裕厚	1.　対象
2-12　最小板厚及び細長比	2.　設計総論
2-13　摩擦係数	3.　設計各論
2-14　塗　装	参考資料 ・　横主桁式鋼製起伏ゲート設計計算例 ・　魚腹式鋼製起伏ゲート設計計算例 ・　トルク軸式鋼製起伏ゲート設計計算例
11.　余裕厚	
12.　最小板厚	
13.　細長比	
14.　防食	